RYOUSEI

# 取扱説明書

## リョウセイ 掃除機

## REシリーズ

この度は***リョウセイ***製品をお買い求め頂き、
誠にありがとうございました。

正しくお使い頂くために、この取扱説明書を必ずお読み下さい。万一、ご使用中にわからないことや具合の悪いことが起きた時、きっとお役に立ちます。

製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に添付されている製造番号銘鈑は絶対剥がさないで下さい。

この取扱説明書では、安全注意事項を「警告」「注意」として区分してあります。

**⚠ 警告**
WARNING
取扱を誤った場合に、危険な状況がありえ、重傷や死亡につながる可能性が想定される場合。

**⚠ 注意**
CAUTION
取扱を誤った場合に、危険な状況がありえ、軽傷や中程度の傷害につながる可能性及び対物損害の発生が想定される場合。

## ■ ご使用になる前に

### （1）確認事項

本機は厳重なる検査の上出荷されていますが、製品が届きましたらまず次の点を確認して下さい。
銘板を確認し、形式、出力、電圧等がご注文通りのものかどうか。
輸送中の事故等で破損していないか。
もし不都合なところがあればなるべく現状のままで形式、製造番号を調べ購入先へご連絡下さい。又、お客様による製品の改造は弊社の保証範囲外ですので、改造に伴う責任は負いません。

### （2）開梱、運搬、据付け

**⚠ 注意**
- ●段ボール、木枠梱包とも金具に注意して開梱して下さい。怪我の恐れがあります。
- ●運搬、据付けは、落下・転倒に注意して移動させて下さい。怪我の恐れがあります。
- ●必ず平らな場所でご使用下さい。転倒の恐れがあります。

### （3）使用場所

**⚠ 警告**
- ●ガソリン、シンナー等、引火性・爆発性雰囲気のある場所では、絶対に使用しないで下さい。怪我、火災等の原因になります。又、溶剤を使用して掃除機本体を清掃しないで下さい。

**⚠ 注意**
- ●屋外でのご使用はお止め下さい。感電の恐れがあります。
- ●周囲温度が－１５℃～＋４０℃以下、湿度は８０%以下の場所でご使用下さい。

### （1）電源

電源線及び電源プラグは確実に接続しお使い下さい。接触不良はモーターやスイッチの故障の原因となります。

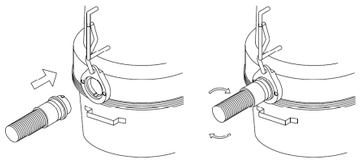
**⚠ 警告**
- ●電源コードを曲げたり、踏んだり、挟んだりしないで下さい。感電の恐れがあります。又、コードは油、ガソリン等で溶ける場合があります、十注意して下さい。
- ●本体に付属した（電源プラグに付属した）緑色のアース線がある場合、必ず接地してからご使用下さい。感電の恐れがあります。
- ●排気口に曲がり管等（付属品）や、手を入れたままで運転しないで下さい。感電や怪我の恐れがあります。

**⚠ 注意**
- ●本機は必ず銘鈑記載の電源電圧にてご使用下さい。
- ●電源コードを引っ張って掃除機本体を移動したり、電源プラグを抜かないで下さい。感電や、火災、故障の原因になります。
- ●警告表示シールは常に見えるようにし、障害物で隠したり、取り外さないで下さい。

### （2）運転

**⚠ 警告**
- ●運転中であるか否かにかかわらず、吸込口より、火気類を吸い込ませたり投げ入れたりしないで下さい。火災の原因になります。
- ●運転中は、モーターケースカバーやバケツを外したりしないで下さい。怪我の恐れがあります。
- ●モーターの過熱焼損防止のため、1時間以上の連続使用はお止め下さい。
- ●エアーによる吸い込みを行うＲＥ－１０３ＡＲ/ＲＥ－１００ＬＡＲは、ホースの取り付けを確実にして下さい。又、更なる吸引力が必要な場合は、ソケットを２００－４０ＳＨに変更し適合するホースを接続して下さい。
- ●掃除機本体を移動させる場合は、ホースを引っ張るのではなく、必ず掃除機本体の台車ハンドルや取っ手を持って下さい。
- ●吸引口や排気口をふさぐような使い方はしないで下さい。
- ●ホースは踏んだりして、つぶさないようにして下さい。ホースがつぶれますと、吸引しなくなるばかりではなく、故障の原因にもなります。
- ●掃除機は主に乾いた粉塵用です。油分水分等、湿った粉塵はＲＥ－１０３Ｃで吸引して下さい。液体を回収する場合は、排気からの液体の噴き出しを防ぐため、早めにバケツの処理を行います。（又、カセットフィルターを外すことでフロートによる停止を確実に行えます。）
- ●セメント、石灰、薬品、トナー等、微粒子紛を大量に吸引する場合は、フィルターを通過して極微粒子が排気と共に機外に排出される場合があり、これが障害となるようなクリーンルーム、病院、薬品会社等には排気にクリーンルーム用ＨＥＰＡフィルターを設置した機種をご使用下さい。

本体とホースの取り付け



本体とホースの取り付けは、ホース側のサイクロン吸口口金と本体側のダルマ口金の凹凸部分を合わせて差込み、半回転させて使用して下さい。

## ■ 使用上の注意事項

### （1）付属品の名称

RE－ 100L 130L 150L
標準付属部品一式

### （2）塵落とし

**⚠ 注意**
- ●掃除機は長時間の使用により、フィルターに粉塵が堆積し吸引風量が低下します。一旦運転を停止し、吸引が停止したのを確認した後、下記の要領でフィルターの塵落としを行って下さい。
- ●塵落とし機構がある場合、掃除が終了したら、必ず電源スイッチを切り、塵落とし用黒玉つまみを上方に引き上げる動作を繰り返して下さい。下方へ押し下げると指を挟む恐れがあります。

### （3）粉塵処理

**⚠ 注意**
- ●回収した粉塵は早めに排出して下さい。粉塵を長期間溜めたままにしておきますと、バケツ内部で粉塵が固まり、フィルターの目詰まり、火災等の原因になります。
- ●塵落とし終了後、回収した粉塵は、その都度排出するようにして下さい。バケツの取り出しは、クリップハンドルによるバケツ固定タイプの場合はクリップハンドルを引き上げ上に止まるまで回し、バケツの取っ手を持ってバケツを引き出して取り外して下さい。（図を参照）取り付ける場合は、バケツを元の位置に入れクリップハンドルを戻します。バケツの位置に注意して空気漏れのないようにして下さい。バケツ装着金具によるバケツ固定の場合はバケツ装着金具を外してから、バケツを取り外して下さい。

バケツの取り出し




## ■ 長くご使用頂く為の保守点検

### （1） 保守点検

**⚠ 注意**
- ●各種点検、修理、分解のさいは必ず電源電源を切って下さい。感電、怪我、火災等の恐れがあります。
- ●布フィルターを交換、又は、洗浄のためにフィルターを取り外す場合、必ず手袋をはめて行って下さい。多孔板（ロゴムをはめる板）で指に怪我する恐れがあります。

※保守点検時の注意事項
- ●保守点検作業時は、貴社安全管理規則及び労働安全衛生規則に基づき、十分な安全確認を行って下さい。
- ●保守点検作業は、必要に応じて作業服を着用し、防護具（防塵マスク、保護眼鏡、手袋等）を装着するようにして下さい。
- ●可燃性物質を取り扱っている場合は、火気厳禁として下さい。
- ●掃除機を作動しない保守点検作業時は、確実に電源プラグをコンセントから外すか主電源を落として下さい。

※保守点検項目

○運転作業前
- ●外観検査にて、機能上有害な変形、破損等が無いか確認する。
- ●フィルターが確実に装着されているか。
- ●ホースや吸引用の付属品が確実に装着されているか。
- ●バケツが確実に装着されているか。
- ●バケツ内の粉塵が処理されているか。

○運転作業中
- ●バケツのパッキン、ホースや吸引用の付属品の取り付け部分からの、空気漏れが多くないか。
- ●モーターからの音が大きくなっていたり、金切り音が発生したりしていないか。
- ●吸い込み口のホースを外し、電流計を用いて電流値を確認。（定格値を大きく下回るようですとフィルターの目詰まりが予想されます。）

○定期点検・分解時
- ●フィルターを点検し汚れがひどい場合は洗浄可能なフィルターは洗浄、洗浄できないフィルターや洗浄しても目詰まりが解消されない場合は交換して下さい。又、フィルターに一部でも破れ、穴空きがある場合も交換して下さい。
- ●バケツ部のパッキンを点検。異常な変形、劣化がある場合は新しいパッキンと交換して下さい。

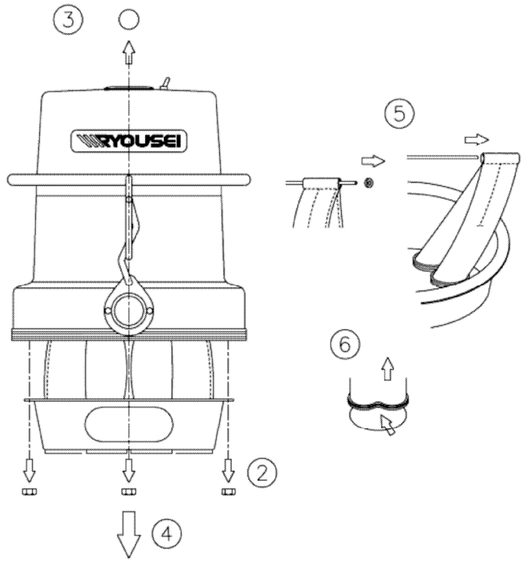
○その他の部分
- ●ホース、付属品の取り付け不良、変形、破損等が無いか。
- ●運転した場合は接続部からの空気漏れがないか。
- ●内部に粉塵の堆積がないか確認し、粉塵の堆積が多い場合、フィルターの取り付け不良、破れ、破損等が考えられます。又、導電性粉塵の場合、短絡、地絡の原因にもなりますので定期的に清掃して下さい。

### （2）フィルターの交換

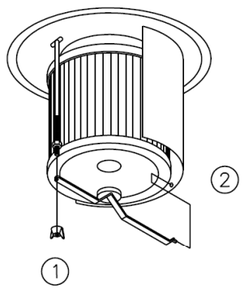
- ●フィルターは長い間に目詰まり、耗傷しますので、目安として約１年でフィルターを洗浄できるものは洗浄、洗浄できないフィルターや洗浄しても目詰まりが解消されない場合は交換して下さい。尚、洗浄の場合、フィルターの破損を十分に確認して下さい
- ●掃除する粉塵の種類によっては、塵落としで十分落ちない場合もあります。その場合はフィルターを本体から外して掃除機で清掃するか、水洗い（市販の洗剤を使用するとより効果的です。）して下さい。尚、フィルターは十分乾燥させてから取り付けて下さい。フィルターの種類によっては水洗い出来ないフィルターもありますので詳しくは弊社までお問い合わせ下さい。

**⚠ 注意**
- ●フィルターを点検・交換する場合は必ず電源プラグをはずすか、主電源を切り、停止状態を確認した後行って下さい。
- ●フィルターロゴムの付けはずしの際、多孔板で指を切る恐れがあり、必ず手袋等をはめて作業することをお勧めします。
- ●フィルターの装着が不完全な場合、排気口より吸引した粉塵が吹き出る場合があります。確実に装着してある事を確認して下さい。

RE-100L/130L/150L/200L/230L/250L/RE-100LARの場合
①クリップハンドルを上げ、バケツを引き出し、黒ゴムパッキンを外します。
②フィルターケース周囲にある３箇所のナットを取り外します。
③塵落とし用黒玉つまみを取り外します。
④シェーキングハンガーと共にフィルター付き多孔板を下方へ引き出します。
⑤フィルターハンガー先端の止めゴムを抜きフィルターを抜き取ります。
⑥多孔板からフィルターを取り外すためにフィルターの口ゴムを中心方向へ押すような力を加え、さらに上方へ引き上げ取り外します。
⑦全てのフィルターを抜き取ります。取り付けは逆の手順で行なって下さい。（口ゴムを確実にはめ込み、フィルターがねじれないようにして下さい。）
⑧フィルターを取り付けた多孔板を本体の下方より入れ、黒玉つまみを締めて出来上がりです。




RE-103C/RE-103ARの場合
①バケツを取り外し、フィルター押え金具の蝶ねじを緩めて外します。
②フィルター押え金具を取り外します。
③フィルターを取り外します。
④新しいフィルターを取り付けフィルター押え金具で固定し蝶ねじを締めます。



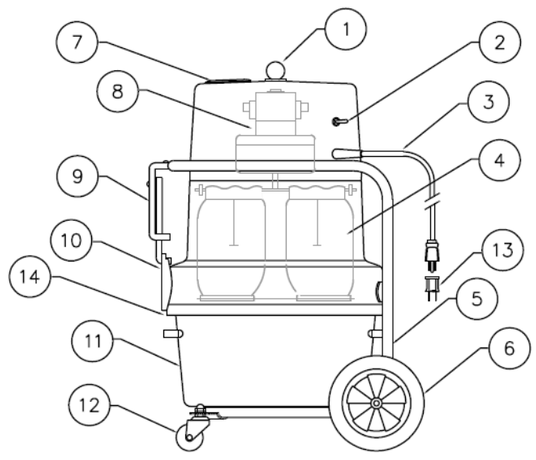

RE-100T/130T/150T/200T/230T250Tの場合
①クリップハンドルを上げ、バケツを引き出し、黒ゴムパッキンを外します。
②フィルターケース周囲にある３箇所のナットを外し、フィルター押えを取り外します。
③塵落とし用黒玉つまみを取り外します。
④シェーキングハンガーと共にフィルターを取り外します。
⑤シェーキングハンガーからフィルター取り付け紐を外します。
⑥新しいフィルターを取り付けフィルター押え金具で固定します。

ＨＥＰＡフィルター付きの場合
ＨＥＰＡフィルターが装着してある掃除機の場合、一次フィルターで補集しきれなかった微細な粉塵は、ここで補集されます。ＨＥＰＡフィルターは再生できませんので、使用して一年間を目安に新しい物と交換して下さい。

## ■　各部の名称

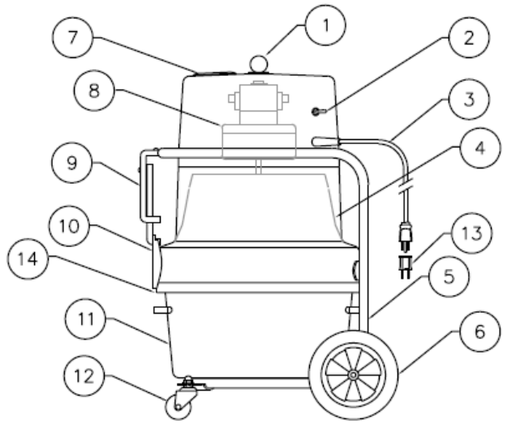
RE-100L

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 塵落とし用黒玉つまみ | ⑧ | 整流子ファンモーター |
| ② | 電源スイッチ | ⑨ | クリップハンドル |
| ③ | 電源コード | ⑩ | 吸引口 |
| ④ | フィルター | ⑪ | バケツ |
| ⑤ | 台車ハンドル | ⑫ | 自在車 |
| ⑥ | 固定車 | ⑬ | プラグアダプター |
| ⑦ | 排気口 | ⑭ | 黒ゴムパッキン |



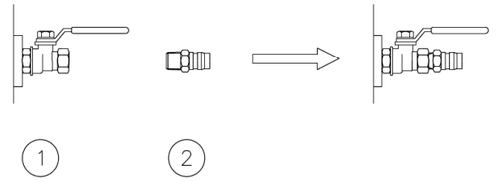

RE-100T

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 塵落とし用黒玉つまみ | ⑧ | 整流子ファンモーター |
| ② | 電源スイッチ | ⑨ | クリップハンドル |
| ③ | 電源コード | ⑩ | 吸引口 |
| ④ | フィルター | ⑪ | バケツ |
| ⑤ | 台車ハンドル | ⑫ | 自在車 |
| ⑥ | 固定車 | ⑬ | プラグアダプター |
| ⑦ | 排気口 | ⑭ | 黒ゴムパッキン |



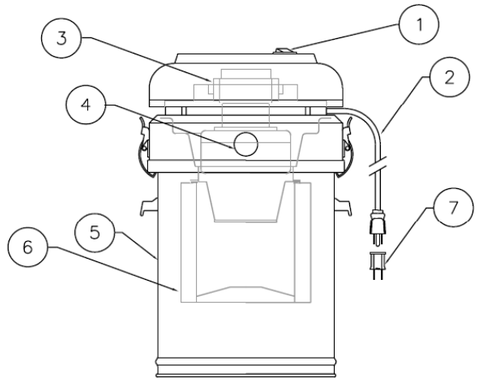

RE-100LAR

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | ボールバルブ | ② | プラグ |



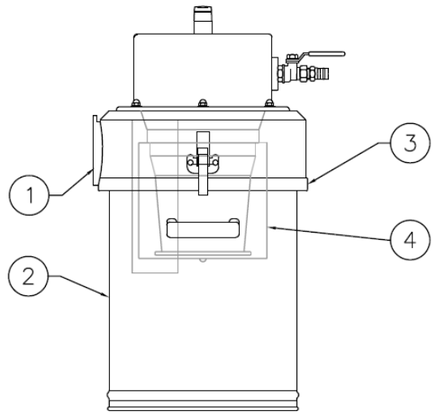

RE-103C

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 電源スイッチ | ⑤ | バケツ |
| ② | 電源コード | ⑥ | フィルター |
| ③ | 整流子ファンモーター | ⑦ | プラグアダプター |
| ④ | 吸引口 | | |




RE-103AR

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① | 吸引口 | ③ | バケツ用黒パッキン |
| ② | バケツ | ④ | フィルター |




## ■　アフターサービスについて

（1）保証規定
保証期間はお求めの日から６ヵ月間です。
尚、一時間以上の連続運転による過熱故障、借受け（リース）物件は保証を除外します。

（2）保証期間中に修理を依頼される時
「故障かなと思ったら・・・まず点検」の表に従って調べて頂き、なお異常のある場合はお買い求めの販売店又は弊社までご連絡下さい。

（3）保証期間経過後に修理を依頼される時
お買い求めの販売店又は弊社までご連絡下さい。修理により製品の性能が維持できる場合には、有料にて修理いたします。

（4）修理用性能維持部品の最低保有期間
弊社ではRE製品各タイプの修理用性能維持部品を、製造打ち切り後最低６年間保有しております。

（5）保証期間中の修理等アフターサービスについてご不明な点はお買い求めの販売店又は弊社までご連絡下さい。

（6）この保証、サービスは日本国内に限り有効です。

## ■　故障かなと思ったら・・・まず点検

| 症　状 | 考えられる原因 | 対　策 |
|---|---|---|
| スイッチを入れても始動しない。 | 電源が入っていない | 電源を入れる |
| | スイッチ接触不良 | 修理・交換 |
| | モーター故障 | 修理・交換 |
| | 電源コード(配線)断線 | 修理・交換 |
| モーターが運転中に止まってしまう | モーター故障 | 修理・交換 |
| 振動、騒音が大きくなった。 | モーター取り付け部、その他、締め付け部が緩んでいる。 | 点検・増し締めして下さい |
| 排気口から粉塵が吹き出す。 | フィルター破損、磨耗 | 交換 |
| | フィルターの取り付け不良 | 点検 |
| 吸引力の低下、又は吸引しない。 | フィルターの目詰まり | 水洗い・交換 |
| | 集塵バケツが一杯になっている。 | 粉塵処理 |
| | 集塵バケツ装着不良 | 点検 |
| | ホース内の詰まり | 清掃 |
| | ホースの変形、破損 | 交換 |

**リョウセイ株式会社**
〒４６３－００４８　名古屋市守山区小幡南二丁目６番８号

名古屋本社　TEL　（０５２）７９４－３２１１(代)
東京営業所　TEL　（０３）３８３５－４４５１(代)
大阪営業所　TEL　（０６）６３０２－８０５５(代)
福岡営業所　TEL　（０９２）９４７－２８２１(代)

掃除機取説-1309-1.0